



ebookjapan の新刊検索マクロ

使い方ガイド

2021/06/08 初版発行

2021/06/16 ライセンス登録に設定を追加

2021/10/14 Selenium Basic への変更を反映

2021/11/22 WebDriver の変更を反映

2022/01/27 一部加筆修正

目次

新刊通知機能について.....	2
本マクロの目的	2
注意事項	2
Selenium Basic と WebDriver のインストール	2
本マクロのインストール.....	5
実行前の準備	6
ライセンスの登録方法.....	7
旧版をお使いの方へ.....	8
新刊を確認するマクロ.....	8
アンインストール	9

新刊通知機能について

旧 ebookjapan には、著者名に対して新刊通知機能があった。しかし、2019 年 2 月 28 日（木）より、Yahoo! JAPAN 傘下となり、サイトも Yahoo! JAPAN の電子書籍サイトに合わせたものとなった。この為、著者名に対する新刊通知機能はなくなった。これにより、1 巻完結作品や、新規連載作品は、作者名で検索でもしない限り、発行されたことを知るすべを失った。

本マクロの目的

「著者名一覧」シートで指定した著者名を、web ebookjapan の「新刊一覧」サイトから探し出し、「新刊一覧」シートに書き出す。これにより、フォローしている作者の 1 巻完結作品や、新規連載作品が発行されたことを知ることができる。

注意事項

- 予め Selenium Basic と WebDriver のインストールが必要である。
- 評価版では、1 頁しか処理できない。
- オートメーション処理では、常にログアウト状態になる。この為、購入済み表示機能は使えなくなった。
- 「新刊一覧」シートは、毎回削除、新規作成される。
- 「停止書籍名」で上手く止まらない場合、「停止書籍名」を空欄にして全検索すること。
- web ebookjapan で新刊通知機能がリリースされたら、それ以降、本マクロは更新しない。

Selenium Basic と WebDriver のインストール

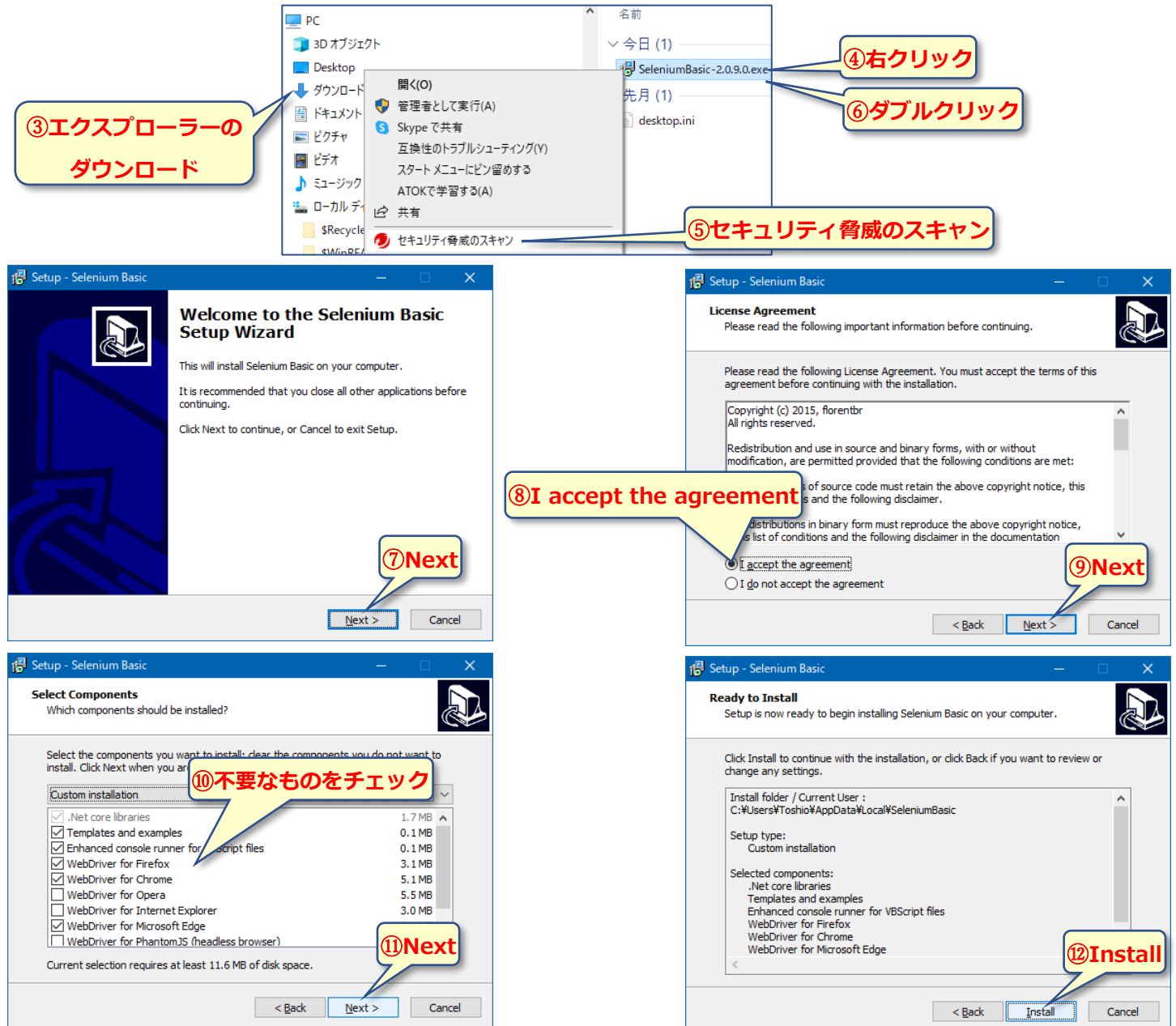
本マクロでは、Selenium Basic と WebDriver を利用しているため、予めインストールが必要である。

1. Selenium Basic のインストール

Selenium Basic の置き場所： <http://florentbr.github.io/SeleniumBasic/>

The image shows a screenshot of the SeleniumBasic GitHub repository page. The page title is "Seleniumbasic" with a subtitle "A Selenium based browser automation framework for VB.Net, VBA and VBScript". There is a "View on GitHub" button. The "Description" section states: "It makes it possible to automate web browsing using Excel and VBA code or u... executed by double-clicking on it. User's actions can be recorded using the F... 'S... and translated to VBA or VBS with the provided formatters." Below the description is a "Download" section with a link "Release page". A yellow callout box with the text "(中略)" points to the "Release page" link. Another yellow callout box with the text "①Release page" points to the "Release page" link. A third yellow callout box with the text "②SeleniumBasic-2.0.9.0.exe" points to the "SeleniumBasic-2.0.9.0.exe" asset in the "Assets" section. The "Assets" section shows three assets: "SeleniumBasic-2.0.9.0.exe" (22.6 MB), "Source code (zip)", and "Source code (tar.gz)". The "SeleniumBasic v2.0.9.0" release information is also visible, including the version number, commit hash "8a2cde3", and the release date "3 Mar 2016".

2. SeleniumBasic-2.0.9.0.exe の実行



3. WebDriver のインストール

WebDriver は Selenium Basic と Viewer との橋渡しをするもので、Viewer のバージョン別に用意されている。この為、Viewer がアップデートされる度に、差し替える必要がある。

- Chrome の場合

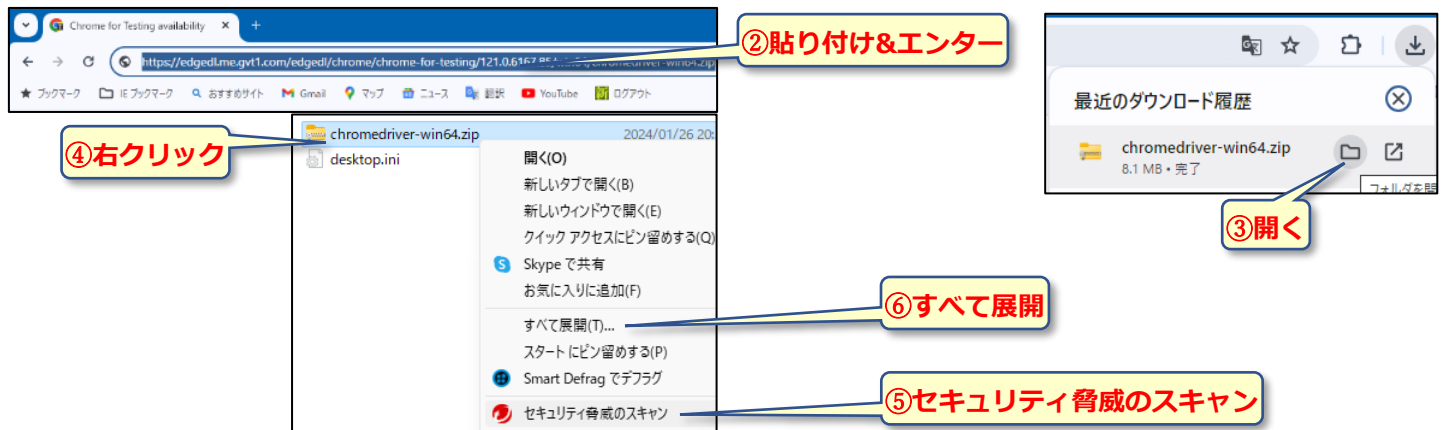
① WebDriver のダウンロード

chromedriver.exe の置き場所 : <https://googlechromelabs.github.io/chrome-for-testing/#stable>

Stable

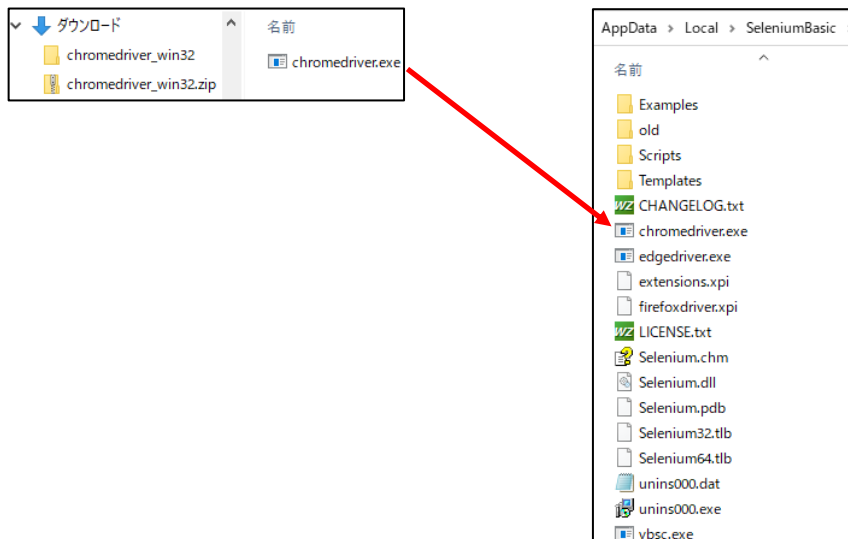
Version: 121.0.6167.85 (r1233107)

Binary	Platform	URL
chrome	linux64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/linux64/chrome-linux64.zip
chrome	mac-arm64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/mac-arm64/chrome-mac-arm64.zip
chrome	mac-x64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/mac-x64/chrome-mac-x64.zip
chrome	win32	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/win32/chrome-win32.zip
chrome	win64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/win64/chrome-win64.zip
chromedriver	linux64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/linux64/chromedriver-linux64.zip
chromedriver	mac-arm64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/mac-arm64/chromedriver-mac-arm64.zip
chromedriver	mac-x64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/mac-x64/chromedriver-mac-x64.zip
chromedriver	win32	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/win32/chromedriver-win32.zip
chromedriver	win64	https://edgedl.me.svt1.com/edgedl/chrome/chrome-for-testing/121.0.6167.85/win64/chromedriver-win64.zip



②WebDriver の差し替え

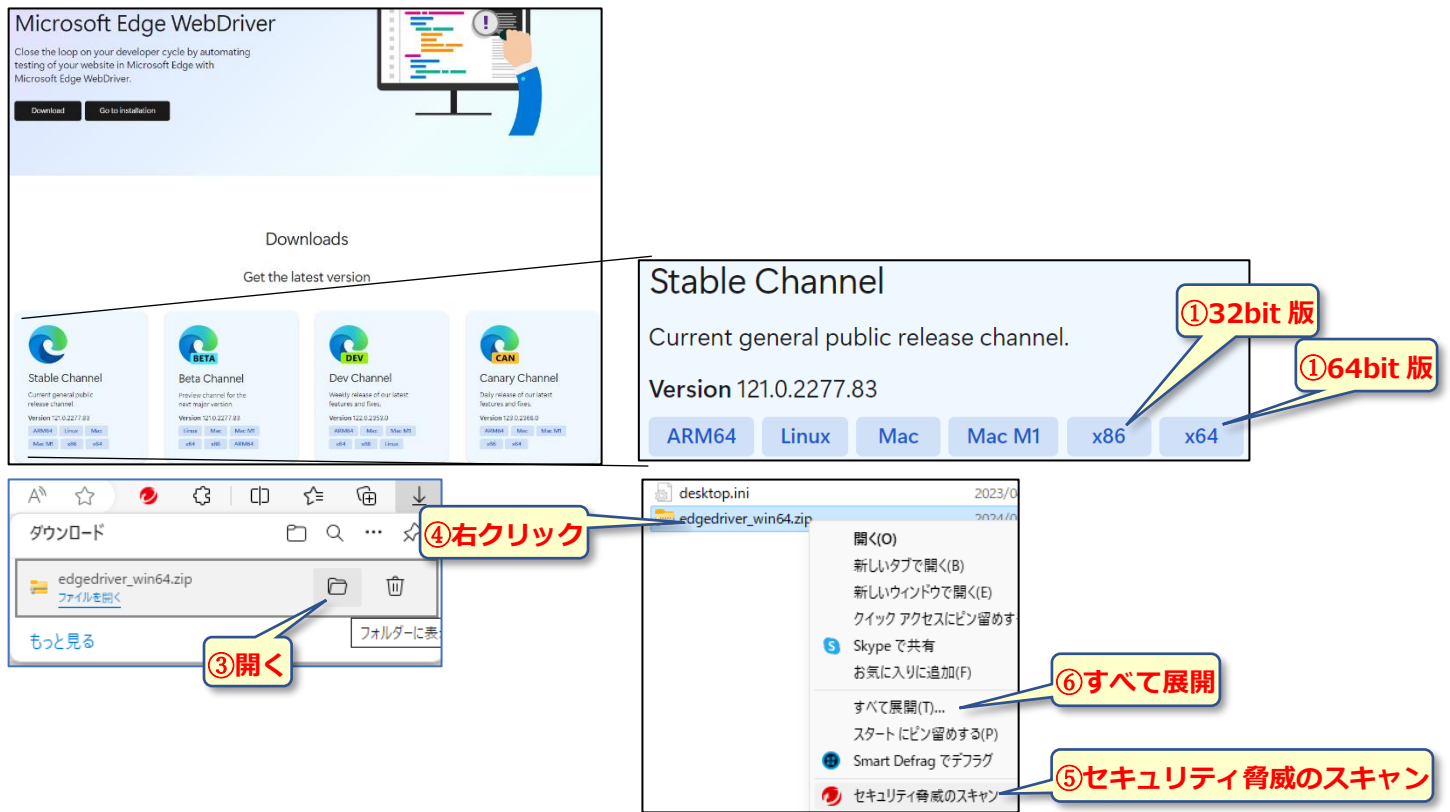
%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic の chromedriver.exe と差し替える。



● Edge の場合

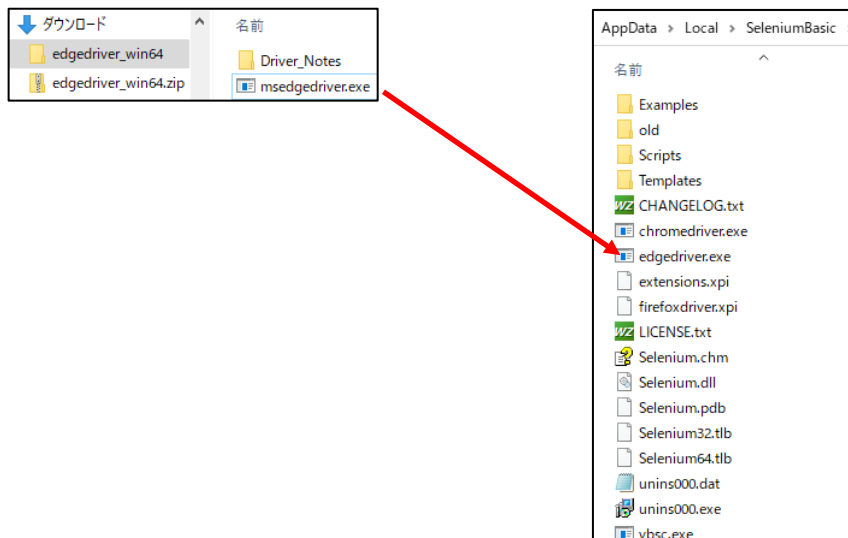
①WebDriver のダウンロード

edgedriver.exe の置き場所 : <https://developer.microsoft.com/en-us/microsoft-edge/tools/webdriver/>



② WebDriver の差し替え

msedgedriver.exe を edgedriver.exe に名前を変え、%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic の edgedriver.exe と差し替える。

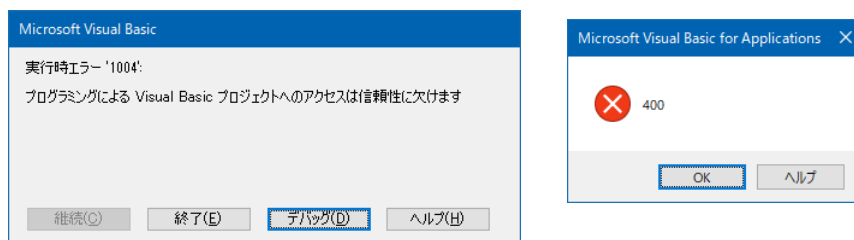


本マクロのインストール

本 Excel ファイルのみ。

実行前の準備

1. VBAProject へのアクセスの許可が必要である。これを行なわないと、以下のどちらかのエラーが出る。



以下の手順で許可すること。

①バーナーのv

②その他のコマンド

③リボンのユーザー設定

④開発

⑤OK

⑥開発

⑦マクロのセキュリティ

⑧マクロの設定

⑨VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する

⑩OK

2. .NetFramework3.5 のインストール

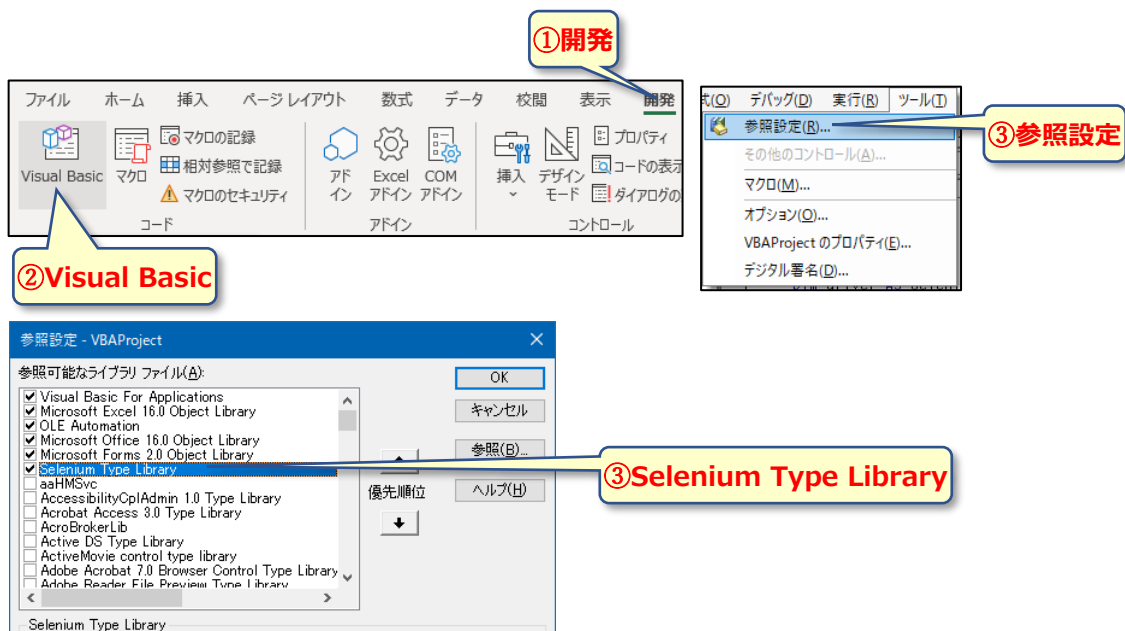
これが最新でない場合、エラーになるとのこと。

%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic\Scripts\StartEdge.vbs

を動かせば良いとのこと。

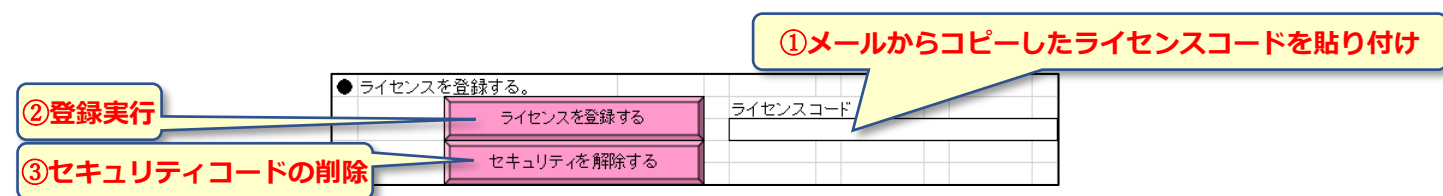
3. 参照設定の追加

Selenium Type Library が外れている場合が考えられる。確認すること。



ライセンスの登録方法

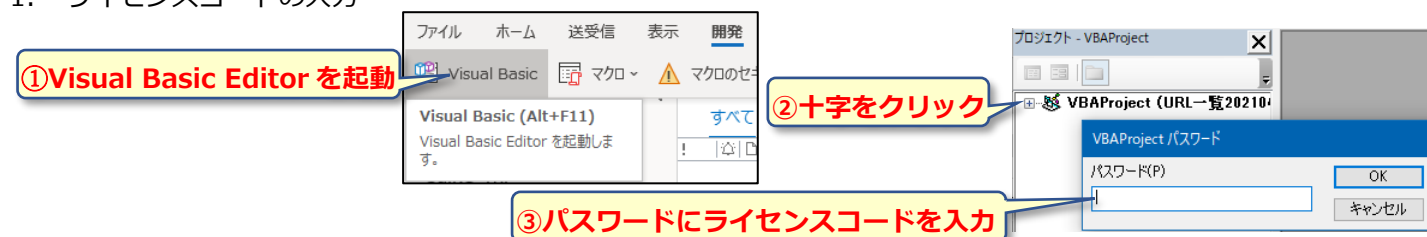
ライセンスを登録し、VBA コードを開放するには、以下の手順が必要である。



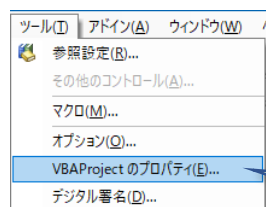
実行後、「NumLock」が外れることがある。注意すること。

自動実行が上手く動かない場合、以下の手順で手動解除する。

1. ライセンスコードの入力

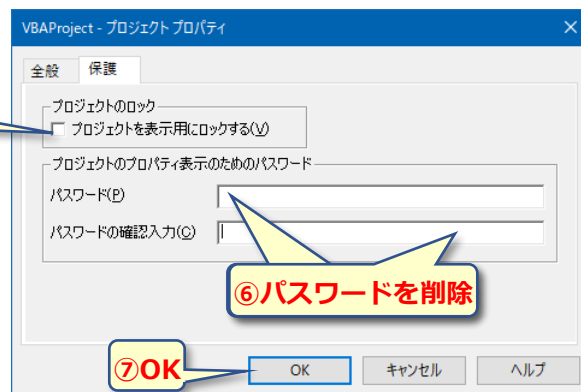


2. ロックの解除



④ VBAProject のプロパティ

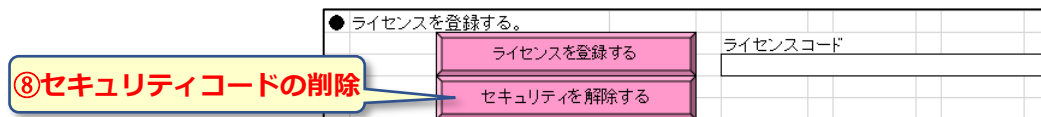
⑤ プロジェクトのロックを外す



⑥ パスワードを削除

⑦ OK

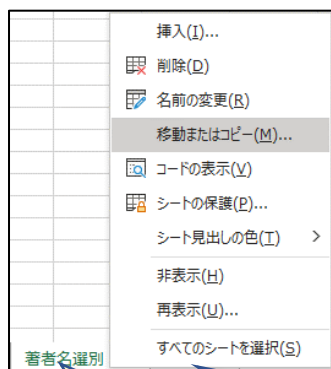
3. セキュリティコードの削除



⑧ セキュリティコードの削除

旧版をお使いの方へ

旧版のデータは、シートのコピー機能を使えば、生かすことができる。

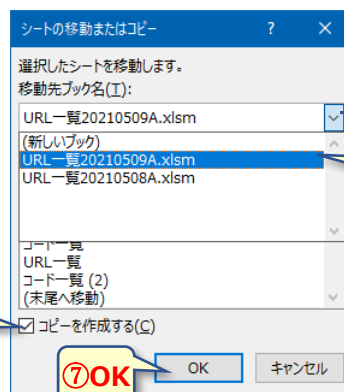


③ 移動またはコピー

② シートのタブで右クリック

④ コピーを作成する

① シートのタブをセレクト&Ctrl+右クリックで追加



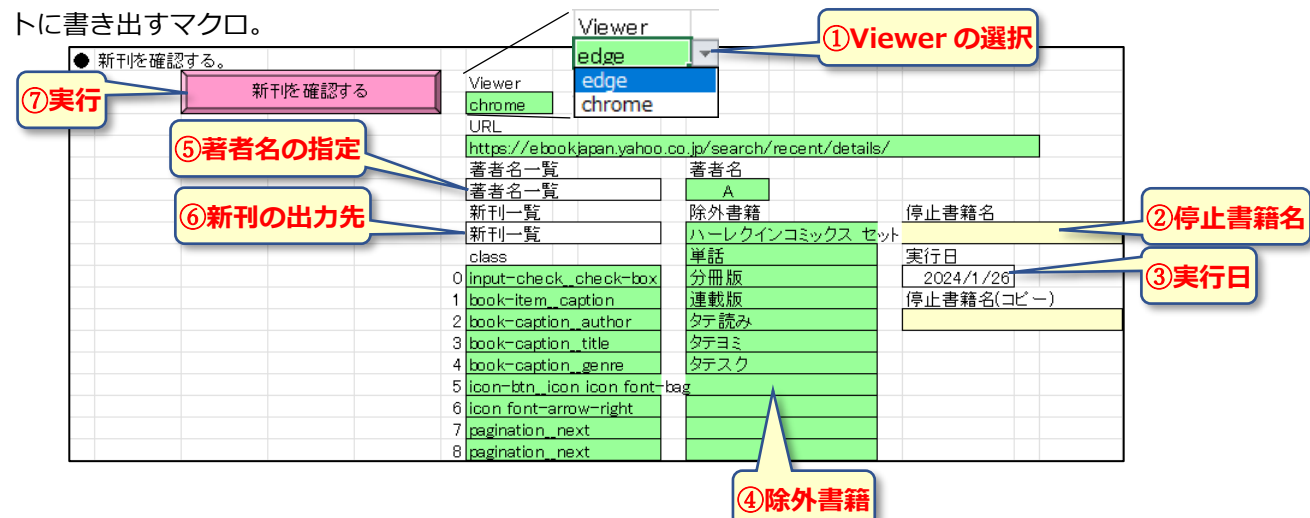
⑤ V をクリック

⑥ コピー先を選択

⑦ OK

新刊を確認するマクロ

「著者名一覧」シートで指定した著者名を、web ebookjapan の「新刊一覧」サイトから探し出し、「新刊一覧」シートに書き出すマクロ。



ここで、

- 「著者名一覧」シートは著者名だけを並べたものである。2行目からが検索対象である。
- 「新刊一覧」シートは、フォーマット固定で毎回新規作成される。
- 「除外書籍」は、指定した文字列を含む書籍を検索対象から外している。
- 「実行日」は備忘録である。

「停止書籍名」が空白の場合、全件検索になる。一度実行すると、その時の最初の書籍名が入る。

「停止書籍名」が見つかった場合、その頁と次の頁を検索して終了となる。実行をやり直す場合、前日の「停止書籍名」が必要になるため、実行前に、「停止書籍名(コピー)」にコピーして置くと良い。

アンインストール

本マクロの削除は、本 Excel ファイルの削除のみ。

Selenium Basic と WebDriver の削除は、%LOCALAPPDATA%\SeleniumBasic の unins000.exe を実行する。

